

愛マークイラスト4種



■問合せ 枕崎愛マーク係  
Email:wkuni92@hotmail.com  
TEL080-5493-8218 FAX72-2365

『枕崎愛を育てる会』ブログ  
<http://love.ap.teacup.com/makurazaki/>

## 枕崎を愛する心よ、もっと育て！ 枕崎愛マーク ステッカーを販売

投稿

投稿者：『枕崎愛を育てる会』代表 實吉国盛(ちゃんサネ)

■枕崎でもここ数年で年目になる。各種イベントに参加していただくと、度々思われるのは「枕崎っていいところなんだよ」といふこと。つまり、市民の無関心さの多さである。町おこしに成功している各所の共通点は、町民市民の全私一致的な参加と協働である。私も依然として「枕崎」といふ自分のオリジン(人間性)を愛する気持ちが、五体五肢にわたって発露できていない。そう感ずるのである。そんなとき、商業交流会「結の会」に参加し現在の枕崎の情熱のある人々と交わり、発案したのがこの「枕崎愛を育てる会」である。枕崎を愛する心を持っていただくから始めよう。という、スタートした自らの啓蒙行為である。早速「枕崎愛を育てる会」で知りを得た東京目黒在住の

当市出身者でグラフィックデザイナーの山崎英樹さんから「枕崎愛マークを作ろう」といふことになり、私も参加することになった。枕崎を愛する心を持っていただくから始めよう。という、スタートした自らの啓蒙行為である。早速「枕崎愛を育てる会」で知りを得た東京目黒在住の町中、「私は枕崎愛を育ててゆきます」と、ステッカーを貼った車が走り、持ち物を飾り、製品が増えたと交通マナーは良化した、関心のなかつた人々は愛を發種したくなり、観光客はある種の和らぎと協働をこの町に感じてもらった。限られたスペースに語りきれないが、この「枕崎愛を育てる会」のブログを見ていただきたい。インターネット環境がない方はパソコンで電送いたします。この「枕崎愛を育てる会」のマークは個人や企業が自由に使用できます。その際、有志で枕崎愛マークを金へご寄付ください。●〒985-0801 枕崎市大町1-1-1 ●TEL0963-30348171 ●FAX0963-3034800 (記)17800



▲矢野さんの軽快なおもしろおかしい話に参加者は笑いがとまらない

## 男女共同参画社会の実現へ まずは“思いやり・支え合い”の心から

～まくらざきハーモニーフェスティバル

■男女共同参画社会の実現を目指し、市とくらざきハーモニーネットワーク委員会によるハーモニーフェスティバルが2月11日、南陸地域産業振興センターで開催され、約400人が集まりました。はじめに市男女共同参画推進懇話会委員が恒例となった寸劇を披露。西郷隆盛や坂本龍馬などの偉人にふんし、ご自慢大会に出演、



▲会場を歩きながら公演する矢野さん

デュエットや会話を通し、夫婦や友人関係のあり方をユーモアを交えて表現するという内容に、会場からは大きな笑いが起こりました。講演では、元大分県佐伯市職員で同親光大使も務めた矢野大和さんが、軽妙な口調で会場を笑いの渦に巻き込みました。また、身近な男女共同参画を例にした「言葉には魂がある」ともつ夫婦で会話をしている。相手のことを理解し、思いやるのが大切と訴え、参加者は楽しみながら男女共同参画について学ぶことができました。



## 大好きな枕崎のこと 絵や作文にしたよ ～「わたしたちのまち、まくらざき」絵画・作文コンクール

■枕崎商工会議所女性会(大茂逸子会長：写真中央)が主催する「わたしたちのまち、まくらざき」をテーマにした絵画・作文コンクールが市内の小中学生を対象に行われ、作文と絵画合わせて276点の応募がありました。初開催となる本コンクールでは、枕崎のことについて考える機会を提供することを目的に行われ、児童は感じていることを自由に表現していました。絵画の部金賞に森圭太郎くん(桜山小2年)、作文の部金賞に四之宮光咲紀さん(桜山小2年)が輝きました。森くんは「かつおの船を描いた。こんな船があったらな」と、四之宮さんは「もっともっと枕崎のことを知りたい」と話してくれました。



## 最優秀賞に かつおぶし3種クッキー ～市制60周年記念 枕崎おさかな料理コンクール

■枕崎おさかな料理コンクールの本審査が2月21日、妙見センターで行われました。会場には、書類審査を通過した35点の料理が並び、審査員が見た目や味を確かめながら審査していきま。その結果、最優秀賞に鯉坂真菜さん(鹿児島市 高校1年)の『かつおぶし3種クッキー』(写真)が輝きました。このクッキーの3種とは、鯉節に①おから②しょうがのすりおろしとおから③しょうゆを混ぜたもので、しっかりとふわふわした食感に、鯉節の風味と混ぜ合わせた食材が絶妙にマッチしたもので。鯉坂さんは「選ばれてびっくりした、嬉しい。将来は管理栄養士の資格を持っているパティシエになりたい。」と喜びを話していました。



## “坂男”田畑庸祐選手(立神出身)が快走 ～県下一周市郡対抗駅伝競走大会

■第57回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月20日から24日まで、県内全域を舞台に行われました。初日は本市を通過。第8中継所の市役所前(写真左)にはたくさんの市民がかけつけ、川辺チームへはもちろん、たすきをつなげようと懸命に走りこんでくる選手たちに惜しみない声援が送られました。また、まくらざきハーモニーネットワークから茶節と腹皮のから揚げが振る舞われ、走り終えた選手たちの労をねぎらいました。写真右は初日、山川高校前の坂道を軽快に上る田畑選手。上り坂が得意という田畑選手は3回の出走すべて急な坂の続くきついコースを走り、川辺チームの総合3位に貢献しました。



## 体全体でイキイキと表現 ～第22回枕崎市表現・ダンス発表会

■表現・ダンス発表会が2月12日、市民会館で開催され、市内小・中学校と高校から304人の児童生徒が出演し、創作ダンスや音楽に合わせたリズムダンスなどを発表しました。写真は別府小学校1・2年生の34人による『たのしい海のなかまたち』。児童らは海の生物たちを、体全体を使って表現していました。枕崎小学校3年生の90人による『ジャングルたんけん』で探検隊の隊員を演じた市田圭司くんは「ボートを漕ぐ場面は本当にやっている気持ちで演じた。楽しかった。」と話してくれました。